

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 168-8686
 住 所 東京都杉並区永福3-57-14
 氏 名 サミット株式会社
 代表取締役社長 竹野 浩樹 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	サミット株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市多摩区中野島6-29-8		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業, 小売業
	中分類	58	飲食料品小売業
主たる事業 の内容	食品スーパーマーケット		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	1,887	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
		電話番号	
		FAX番号	
		メールアドレス	

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	平成30年度 ~ 平成32年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	当社の地球温暖化対策の取り組みについては、ホームページにて公表しています。 http://www.summitstore.co.jp/eco/index.html

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

1. 2005年に全社でISO14001を取得後、以下を環境方針として定め、環境に配慮した企業活動を推進している。

【環境方針】

「サミットは、地域のくらしを支えるスーパーマーケットとして、お客様と共に持続可能な社会を目指し、環境への配慮を徹底します。」

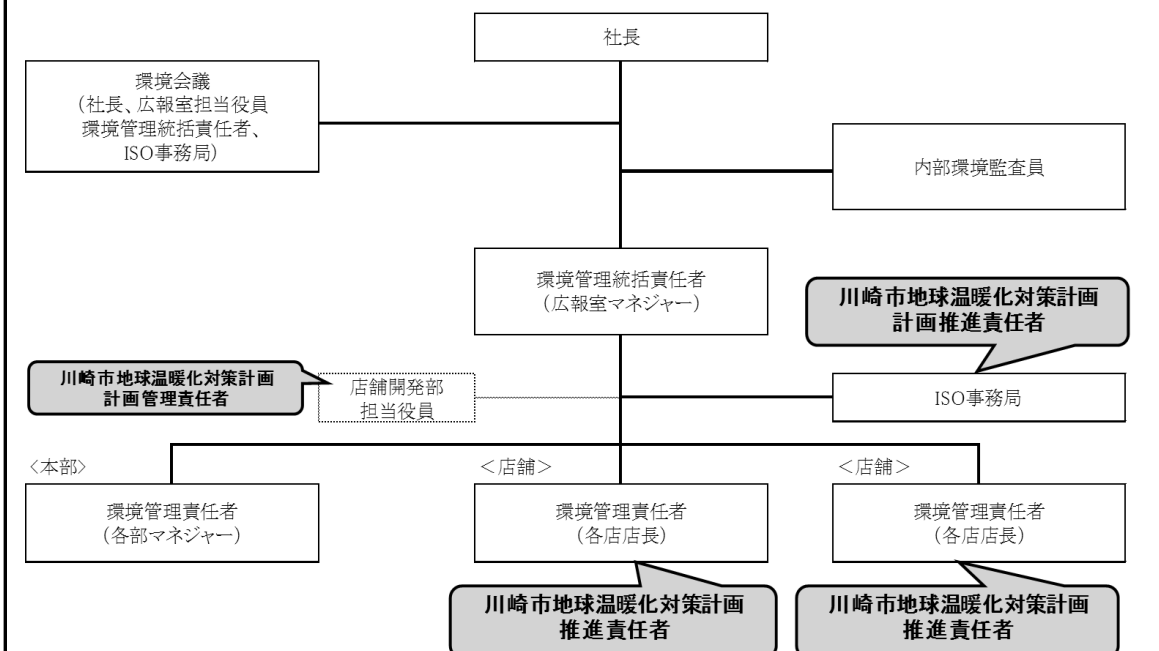
また、環境方針の中で重点的に取り組むテーマのひとつに省エネルギーを掲げ、毎年の環境目標に設定して各種取り組みを推進している。

2. 主要なエネルギー使用設備の更新等については、今後、建設する新店舗には、新型の冷凍設備・冷ケースの導入、省エネ空調機の導入、熱線吸収ガラスの設置によるエネルギー使用効率の向上、LED等の省エネ照明の導入を進める。

3. 当社はISO14001に基づき環境対策を推進しており、改正省エネ法に対応し全店規模での省エネルギー対策を実行していく。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制

ISO14001における環境マネジメントシステム体制に、店舗開発部担当役員を「地球温暖化対策計画管理責任者」として加え、対策を推進する。



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

基準年度	平成29年度	目標年度	平成32年度
基準排出量	(実) 3,568 (調) 3,481	t-CO ₂	(実) 3,461 (調) 3,377
削減率	(実) 3.0 (調) 3.0	%	(実) 107 (調) 104
		削減量	t-CO ₂

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原単位の活動量	延床面積×営業時間	単位	m ² ・百万h
基準年度の値	43.33	目標年度の値	42.03
削減率	3.0 %		
延床面積、生産数量以外の原単位を使用した場合の理由	営業時間の変更により、主に照明・空調等の電気使用量が増減するため。		

ウ 目標設定に関する考え方

本計画期間中、市内4店舗中、2店舗でLED照明の導入を計画している。但し、調理機器の増設や商品化拡大による電気使用量の増加が考えられるため、目標削減率は3%とした。
--

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）

2017～2019年度目標： 既存店電気使用量 毎年前年度比1%削減

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

<p>事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)</p>	<p>(1)照明設備の運用管理 ①消灯管理の徹底(時間帯による消灯・間引) ②LED照明 (2)空調設備の運用管理(制御温度の監視) (3)冷凍・冷蔵設備の運用管理(点検、フィルター清掃、ヒートリクレーターの夜間停止) (4)デマンドメータの活用</p>
<p>自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 3 号該当者等)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

特になし

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

(1) 照明設備の運用管理 ①消灯管理の徹底(時間帯による消灯・間引) ②LED照明 (2) 空調設備の運用管理 (制御温度の監視) (3) 冷凍・冷蔵設備の運用管理(点検、フィルター清掃、ヒートクレーマの夜間停止) (4) デマンドメータの活用 (5) 冷凍ケースへの引戸・ナイトカーテン設置 (6) 管理標準の作成
--

6 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

特になし

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

<ol style="list-style-type: none">1. ISO14001を全社で取得（新店は年1回の定期審査で追加認証）2. 川崎市リサイクルエコショップに登録3. 廃棄物のリサイクル実施（資源の店頭回収、バックヤードで排出される廃棄物のリサイクル）4. マイバッグ持参の推進
--

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	3,568	t-CO ₂
(調)	3,481	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k_l 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 以上 1,500k_l 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
サミットストア南加瀬店	川崎市幸区南加瀬3-40-3	5811	各種食料品小売業	1,127 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k _l 未満	2
300~400k _l 未満	1
200~300k _l 未満	
100~200k _l 未満	
100k _l 未満	

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--